

株式会社 京都銀行

京都市下京区扇丸通松原上る
郵便番号600-8652

地域金融に特化したマーケティング分野で地銀 7 行が連携

～「地域金融マーケティング研究会」を設立・共同研究開始へ～

京都銀行（頭取 ^{カシハラ} 柏原 ^{ヤスオ} 康夫）は、平成 19 年 10 月 1 日（月）、中国銀行（頭取 永島 旭）、東京都民銀行（頭取 椎名 哲也）、西日本シティ銀行（頭取 久保田 勇夫）、北陸銀行（頭取 高木 繁雄）、北海道銀行（頭取 塚八 義博）、横浜銀行（頭取 小川 是）の地方銀行 6 行とともに、地域金融に特化したマーケティングを研究する「地域金融マーケティング研究会」（会長 京都銀行・柏原頭取）を設立し、共同研究を開始します。

銀行名は五十音順

金融機関をとりまく環境は、インターネットをはじめとする情報革命により、お客さまがいつでも、どこからでも多様な金融商品・サービスにアクセスが可能となるなど大きな変化が起きています。

また、地域金融においては郵政民営化などの環境変化に加え、規制緩和の進展により、外資系や流通、IT 業界など独自のマーケティング手法やノウハウ、チャネルを持つ企業との競争も激化しつつあります。

地方銀行はこれまで、お客さまのニーズを重視したさまざまな施策を展開してきていますが、さらにお客さま満足度を高めていくため、今回、7 行が連携し、より高度な地域金融独自のマーケティング手法の調査、研究をおこなうとともに、中長期的な観点からマーケティングに関する専門知識や実務経験をもった人材を育成することとしました。

具体的には、地域金融に関わるデータベースマーケティングにおいて実績を持つ浜銀総合研究所（社長 太田 嘉雄）に当行を含めた 7 行から行員を派遣し、数理統計、プログラミングなどの基礎知識・技術を習得した後、地域金融に特化したマーケティング戦略やデータを用いた研究に共同で取り組みます。

また、地方銀行 7 行の各頭取と浜銀総合研究所社長をメンバーとする定例会議を設置し、研究成果の確認や実務への応用などについて検討を進めます。そして、将来的にはこうした研究成果をベースに、地方銀行ならではの、真にお客さまのニーズに合った新商品・新サービスの開発・提供を実現していきます。

以 上

- 1 -

(参考資料)

運営形態

参加銀行から行員が浜銀総合研究所へ出向。
数理統計、マーケティング理論、リテール金融戦略論等の基礎知識・スキルを習得するとともに、実データを利用した実務研究・分析を行い、成果を共有。

